

子供に対する声かけ事案

令和6年1月



埼玉県警察本部

生活安全部生活安全総務課

1 声かけ事案の定義

声かけ事案とは、18歳以下の者に対して、犯罪行為には至らないが、「声をかける」「手を引く」「肩に手をかける」「後をつける」等の行為で、略取・誘拐や性的犯罪等の重大犯罪の前兆として捉えられる事案をいう。

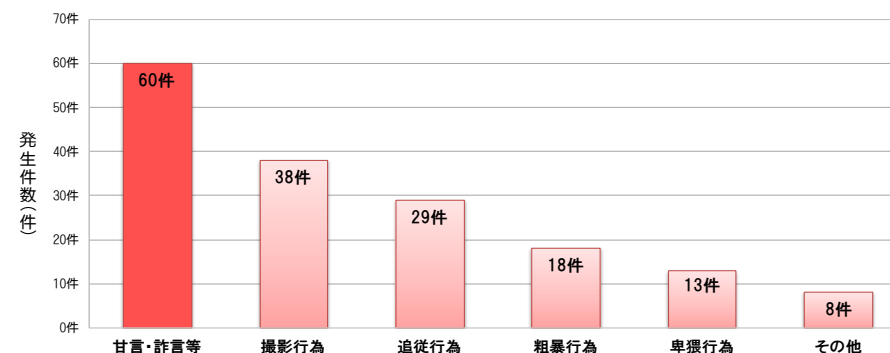
※ 声かけ事案の行為者を「行為者」とする。

構成比率等については、小数点第二位を四捨五入する。

2 認知状況

(1) 認知件数

年 月	令和5年	令和6年	増減数(率)	
	全体(18歳以下)	全体(18歳以下)	全体(18歳以下)	
	小学生以下(割合)	小学生以下(割合)	小学生以下	
1月	218件	166件	-52件	(-23.9%)
	122件(56.0%)	99件(59.6%)	-23件	(-18.9%)



～凡例～

甘言・詐言等：「お菓子買ってあげる。」と声をかけて誘いだす等、金品で誘う行為

「〇〇はどこですか？」と道聞きを装い誘いだす等、騙して誘う行為

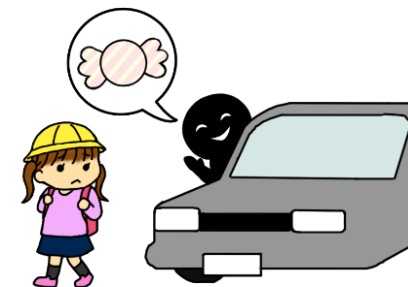
撮影行為：スマートフォン等を使用し、子供の姿を撮影する行為

追従行為：子供の後をつけたり、追いかけたりする行為

粗暴行為：子供に対し怒鳴ったり、粗暴な言動をしたりする行為又は子供の身体に接触しようとする行為

卑猥行為：卑猥な文言により声をかけたり、胸や尻等の羞恥を覚えるような部位を触ろうとしたりする行為

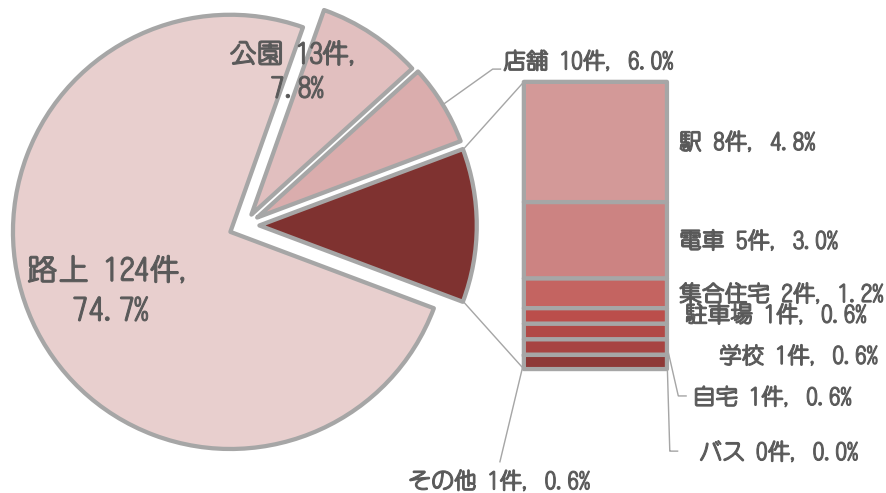
その他：上記形態に分類されない文言不明の声かけ事案等



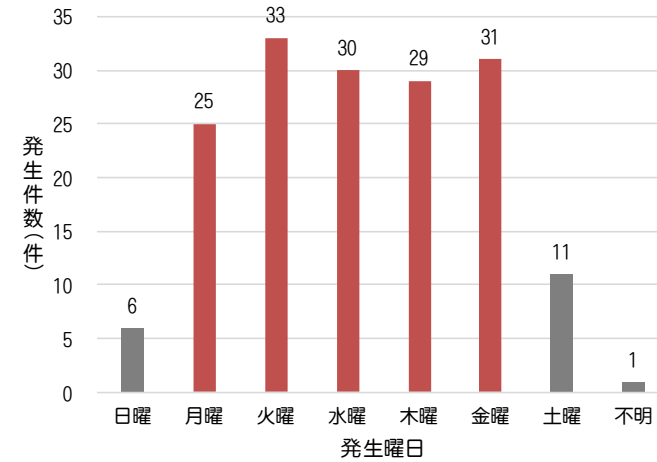
(2) 声かけ事案(1月)の傾向

- 小学生と中学生を対象とした事案が、**72.9%**を占める。
- 女子を対象とした事案が、**61.4%**を占める。
- 下校・帰宅途中における発生が、**60.2%**を占める。
- 15時台～17時台に発生が集中し、**51.8%**を占める。
- 道路上における発生が、**74.7%**を占める。
- 単独行動時における発生が、**60.2%**を占める。
- 高校生を対象とした事案は、**35件**(前年比**-23.9%**)であり、全体の**21.1%**を占め、うち、**88.6%**が女子生徒である。

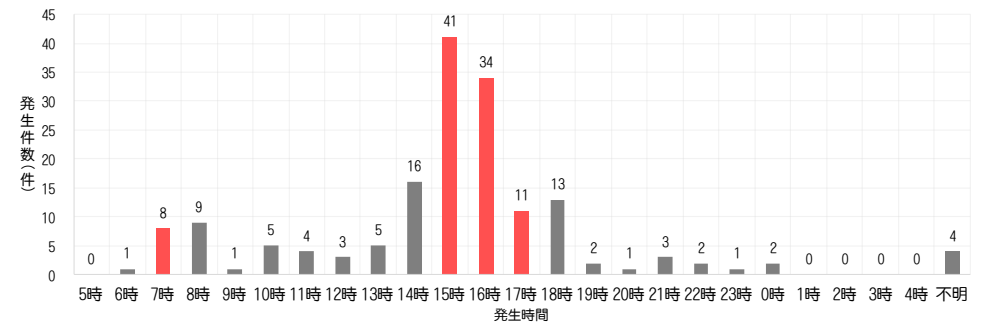
4 発生場所別



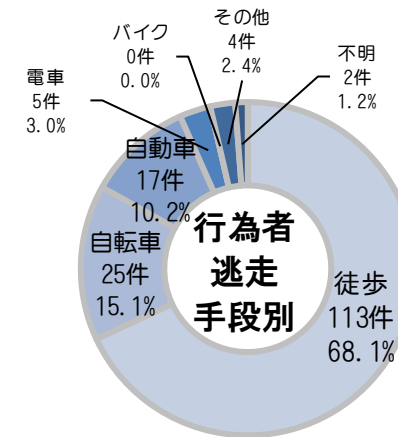
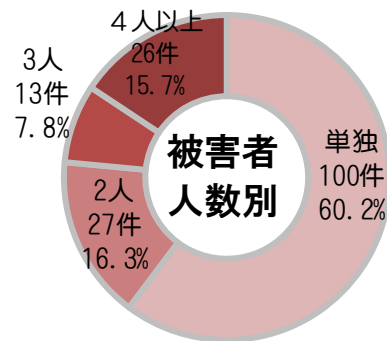
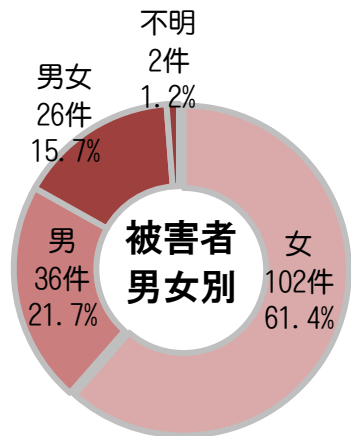
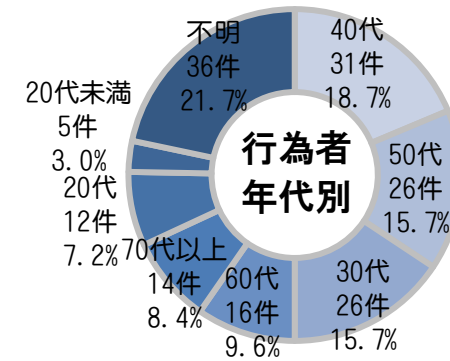
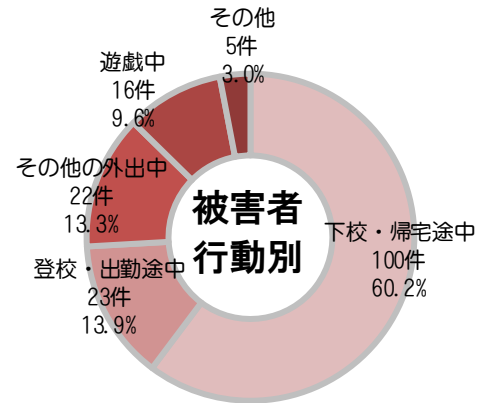
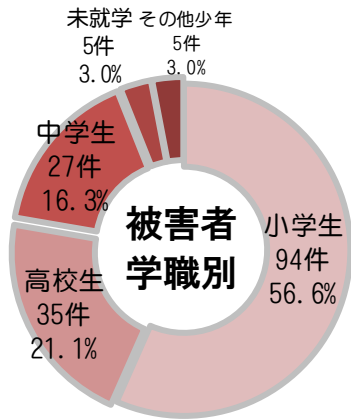
3 発生曜日別



5 時間帯別発生状況



6 被害者の状況



7 行為者の状況

8 効果的事例

子供の「大声をあげる」「防犯ブザー等を使用する」「子供110番の家に避難する」等の防犯行動により、行為者から免れた事案例

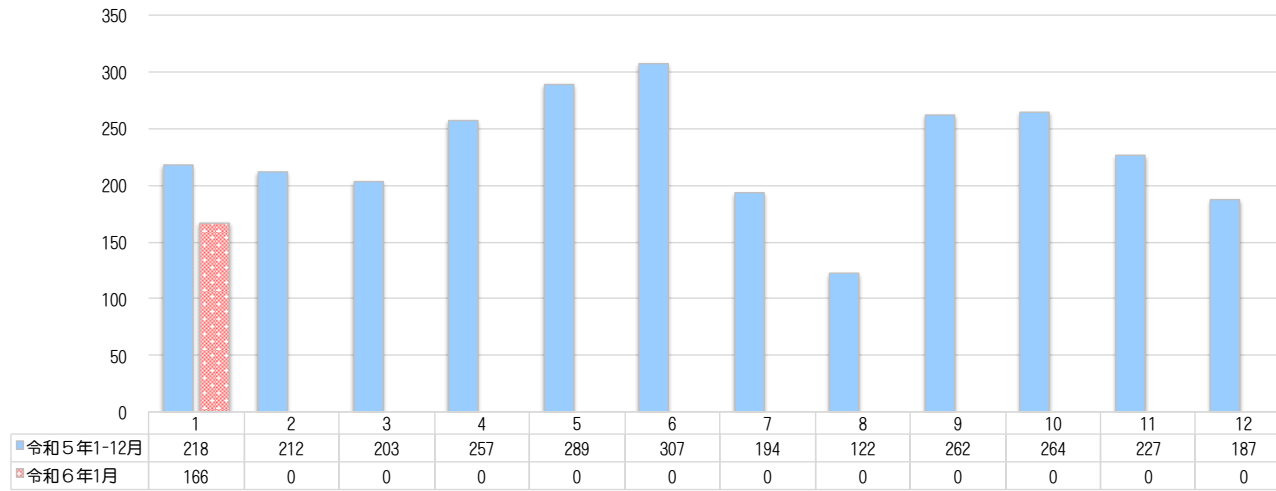
<行為形態別件数>

	走って逃げる			無視する			きっぱり断る			110番の家等に避難			助けを求める			防犯ブザーを鳴らす			大声を出す			合計		
	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
高校生	2	2	0	8	3	-5	0	0	0	1	1	0	0	2	+2	0	0	0	0	0	0	11	8	-3
中学生	4	2	-2	2	0	-2	6	2	-4	1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4	-9
小学生	18	7	-11	4	1	-3	5	1	-4	9	0	-9	1	1	0	3	0	-3	0	3	+3	40	13	-27
未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	11	-13	14	4	-10	11	3	-8	11	1	-10	1	3	+2	3	0	-3	0	3	+3	64	25	-39

<具体的事例> (令和6年1月)

- 女子中学生が徒歩で帰宅途中、男に「こんにちは。一緒に遊びませんか。」と声をかけられたもの。女子中学生がきっぱりと「いいです」と断ったところ、男は立ち去り。
- 小学男児が下校中、自転車に乗車した男に「キャラメルあげるよ。何年生？得意な教科は何？」と声をかけられたもの。男児は走って逃げ出した。

9 月別認知状況



10 警察署別認知状況

